

道

2022年2月1日
(第78号)



ロウバイ

ある人から聞いた「はつこい」の話をしてみようか。ロウバイの黄色い花を見ると思い出す。厳冬期に咲き甘い上品な香りを漂わすロウバイ。▼彼は、ひそかに思いを寄せる女の子に勇気を振り絞って手紙を書いた。携帯電話や電子メールなど無い時代のこと。不器用な彼が真剣な表情でペンを握る姿が目につかぶ。▼その二年前の夏だったか、彼が耳鼻科受診したときに、たまたま通院していた彼女に会い少し言葉を交わした。次の受診でも彼女に出会うのを心待ちにする。胸がときめく。しかし、親しく話すことはできない。学校の中でも、内気な自分と違って明るくしっかりとした彼女を遠くから眩しく眺めていた。その後、彼女は大きな病気に罹り、長く学校を休むことになる。彼女が居る病院に親戚の伯母が入院しているのを口実に見舞いに行った。どんな会話があったのか。心の中と違い、ぎこちない時間が流れたと思う。▼あきらめていた手紙の返事が届いた。心を躍らせて開くと、そこにロウバイの押し花が入っていた。一番寒い時期に咲くこの花が好きです、この花のように強く生きたい、慈愛の心を持ちたい。病気を乗り越えてきた彼女の思いがそこにあった。▼その後、二人はどうなったか。どうも、彼女から二通目が来ることは無かったらしい。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林 道 也



遠田
椋の木